

第88号議案 長崎市立中学校条例の一部を改正する条例

目次

	ページ
1 条例改正の概要	1
2 式見中学校における「学校規模の適正化と適正配置にかかる実施計画（案）」	1
3 式見中学校と小江原中学校の概要	1～2
4 保護者及び地域の動向	2～3
5 教育委員会の対応	3
6 地元協議の経過（時系列）	3～5
7 通学区域	5
8 関係団体からの要望書等	6～15
9 長崎市立中学校条例新旧対照表	16

教育委員会

平成30年9月



# 1 条例改正の概要

## (1) 改正理由

生徒数が減少していること等を勘案し、式見中学校を小江原中学校に統合することに伴い、式見中学校を廃止するため。

(2) 施行日 平成32年4月1日

# 2 式見中学校における「学校規模の適正化と適正配置にかかる実施計画（案）」

小規模化している式見中を小江原中へ統合する

小規模校では、人間関係の固定化のおそれや、友人同士で切磋琢磨する機会が少なく、競争心や向上心が育ちにくい傾向にある。

とくに式見中学校においては、生徒数の減少が著しい状況にあり、部活動への影響や教職員数の確保などの教育的課題が顕著となっていることから、実施計画（案）の対象校の中でも早期の統合が必要と考えるもの。

# 3 式見中学校と小江原中学校の概要

## (1) 現在の生徒数及び学級数

平成30年5月1日現在

学校名	学年	通常学級				特別支援学級	合計
		1年	2年	3年	計		
式見中	生徒数	0	10※	8※	18	0	18
	学級数	0	1	1	2	0	2
小江原中	生徒数	80	101	125	306	4	310
	学級数	3	3	4	10	3	13

※式見中2年は男女各5人、3年は男女各4人

## (2) 生徒数及び学級数の推移

各年度5月1日現在

学校名	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
式見中	生徒数	56	53	42	34	30	18
	学級数	3(0)	4(1)	4(1)	4(1)	3(0)	2(0)
小江原中	生徒数	367	371	372	371	342	310
	学級数	13(2)	13(2)	13(2)	13(2)	12(2)	13(3)

( ) は、うち特別支援学級数

・生徒数の減少により、今後複式学級となることが見込まれる。

複式学級…生徒数が少なく、中学校では2学年で生徒数が8人以下である場合に、2つ以上の学年で1つの学級を編制するもの。

## 【参考】式見小学校の児童数及び学級数

平成30年5月1日現在

学校名	学年	通常学級							特別支援学級	合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計		
式見小	児童数	9	13	16	6	11	9	64	4	68
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7

### (3) 部活動の状況

式見中学校	小江原中学校
バドミントン(女子)、剣道(男子・女子) ソフトテニス(男子)	バスケットボール(男子・女子) バレーボール(女子)、バドミントン(女子) 卓球(男女合同)、剣道(男女合同) 陸上(男女合同)、野球(男子) サッカー(男女合同) ソフトテニス(男女合同) ラグビー(男女合同)、吹奏楽(男女合同)
※平成30年度から男子バドミントン部が休止	※平成30年度からソフトテニス部に男子も入部可とした

### (4) 校地の状況 (保有面積)

摘要		式見中学校面積	小江原中学校面積
全体		12,072㎡	34,310㎡
内 訳	建物敷地	5,436㎡	8,959㎡
	運動場	3,963㎡	7,754㎡
	その他法面等	2,673㎡	17,597㎡

### (5) 建物の状況

平成30年5月1日現在

学校名	主な建物	構造	延床面積	建設年月(経過年数)
式見中	校舎棟	鉄筋コンクリート造4階建	2,918㎡	昭和42年3月(52年経過)
	屋内運動場	鉄骨造2階建	751㎡	昭和45年3月(49年経過)
小江原中	校舎棟	鉄筋コンクリート造4階建	4,547㎡	昭和58年3月(36年経過)
	屋内運動場	鉄骨造2階建	780㎡	昭和58年3月(36年経過)

## 4 保護者及び地域の動向

### (1) 保護者

(ア) 式見小学校PTA	・PTA臨時総会(平成29年9月16日)により、平成32年4月1日に小江原中学校へ統合することについて賛成する旨決議を行った。 賛成18世帯、反対4世帯(53世帯中31世帯が委任状提出)
(イ) 式見中学校PTA	・PTA臨時総会(平成29年11月23日)により、平成32年4月1日に小江原中学校へ統合することについて賛成する旨決議を行った。 賛成19世帯、反対7世帯(26世帯中17世帯出席、9世帯事前投票)

### (2) 地域

(ア) 式見地区連合自治会	・連合自治会定例会(平成30年2月23日)において、平成32年4月1日に小江原中学校へ統合することについて、連合自治会会則に基づき、16単位自治会長による投票を行った結果、過半数以上の賛成(賛成10自治会、反対6自治会)により、統合はやむを得ない旨の結論に至った。
---------------	--

(ア)式見地区連合自治会	・平成30年3月16日に、式見地区連合自治会長、式見中学校PTA会長、式見小学校PTA会長の3者連名で「式見中学校の統合についての要望書」が提出された。
(イ) その他関連団体 ・式見小学校・中学校歴代PTA会長の会	・平成30年4月16日に式見小学校・中学校歴代PTA会長の会から「式見中学校の統合に反対し存続を求める要望書」が運動署名簿（約二千名分）とともに提出された。

## 5 教育委員会の対応

式見地区の教育を考える シンポジウム (平成30年7月8日開催)	式見中学校の現状や小規模校の課題等について、地域住民の理解を促すため、学識経験者等を交えたシンポジウムを開催したところ、望ましい学校規模の確保に対する理解が広がった。
全戸訪問による意見聴取 (7月～8月)	地域住民を対象に、式見中学校の現状を伝えるとともに、統合について意見を求めたところ、下表のとおり「意見なし」が大半を占めた。

<統廃合について> ※訪問戸数1,117戸中、不在222戸を除く895戸に確認]の意見

賛成(やむを得ないを含む)	反対	意見なし
203件(22.7%)	112件(12.5%)	580件(64.8%)

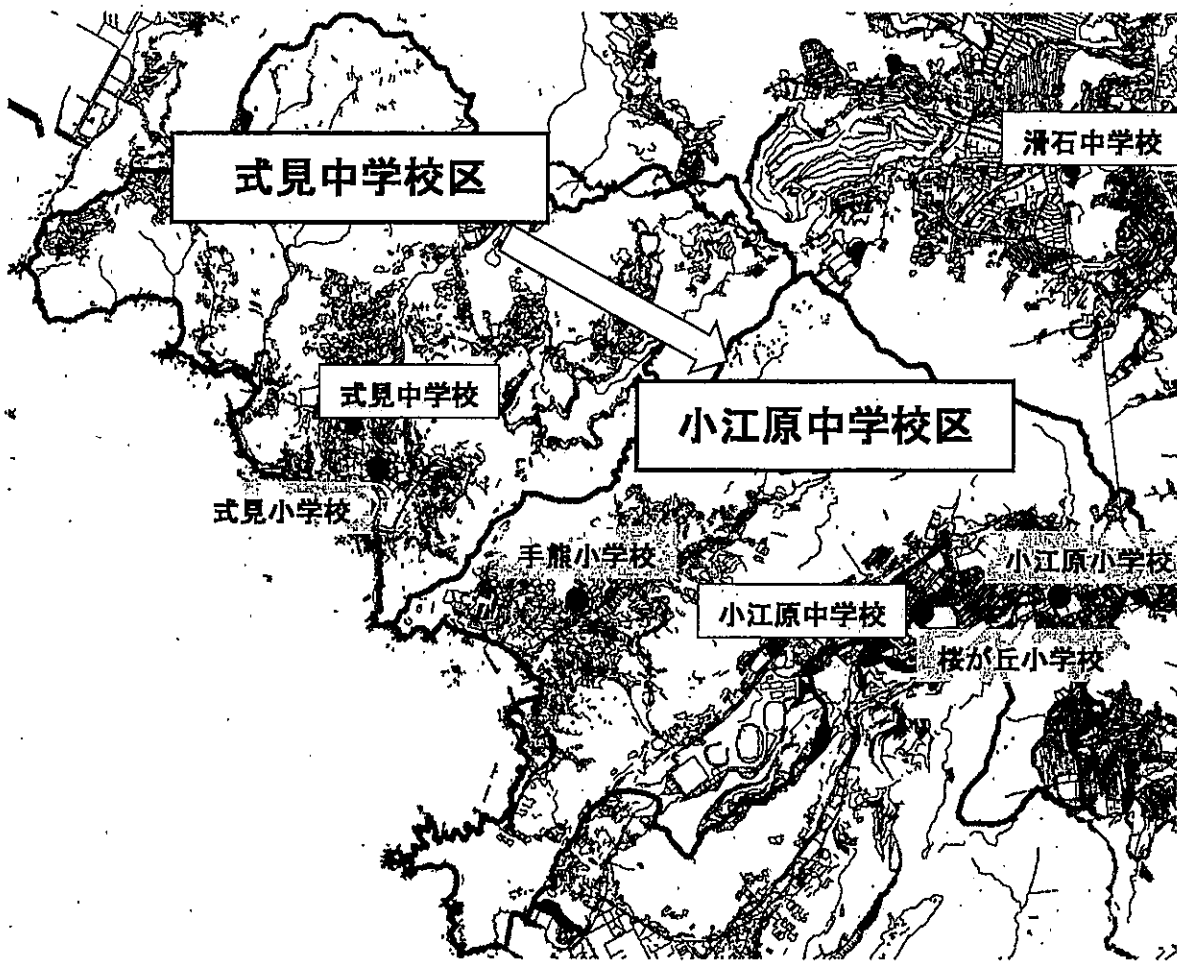
## 6 地元協議の経過(時系列)

日付	概要
平成29年5月26日 式見地区連合自治会総会	慎重に協議を進めてほしい等の意見が出された。
平成29年6月10日 式見中学校PTA執行部・役員会(出席者27名) ※式見小PTA・連合自治会・育成協役員同席	学校がなくなると地域が過疎化してなくなる等の意見が出された。
平成29年7月15日 式見小・中保護者合同説明会 (出席者約40名)	統廃合予定であるという理由で小江原中に入学することは可能かといった意見や式見地区で小中一貫校はできないのか等の意見が出された。
平成29年9月16日 式見小PTA臨時総会 (出席者24名)	式見中学校の統廃合について賛成する旨決議 賛成18世帯、反対4世帯 (53世帯中31世帯委任状提出)
平成29年11月23日 式見中学校PTA臨時総会 (出席者17名)	式見中学校の統廃合について賛成する旨決議 賛成19世帯、反対7世帯 (26世帯中17世帯出席、9世帯事前投票)

日付	概要
平成29年12月8日 地域住民との意見交換会 (出席者80名)	【保護者】子どもの教育環境を考え、統合してほしい。 【地域】子どもがいなくなれば、行事ができなくなり、地域が衰退する。
平成30年1月20日 式見小・中PTA、式見地区単位自治会、育成協など関係団体の代表者による意見交換会 (出席者26名)	【保護者】12月8日と同様の意見 【地域】児童生徒を増やす方策を考えるべき、時間をかけて協議すべき、保護者の意見を尊重すべき、行事に参加してもらえよう工夫すべき等、賛否両論の意見が出された。
平成30年1月26日 連合自治会1月定例会 (16自治会)	これまでの保護者や地域での協議を踏まえ、連合自治会において、式見中学校の統合について、16自治会長の投票により、地域の結論を出すこととなったが、賛成8、反対5、保留3(自治会員の意向を確認したい)という結果となり、結論は出さなかった。
平成30年2月23日 連合自治会2月定例会 (16自治会)	1月定例会の結果を踏まえ、16自治会長の投票により、賛成10、反対6という結果になり、地域として『 <u>統合はやむを得ない</u> 』という結論に至った。
平成30年3月16日 式見中学校の統合についての要望書提出	式見地区連合自治会長、式見小・中PTA会長の3者連名により、平成32年春に式見中学校を廃校することについての要望書が提出された。
平成30年4月3日 式見中学校の統合に反対する意見書提出	式見小学校・中学校歴代PTA会長の会から式見中学校の統合に反対する意見書が提出された。
平成30年4月16日 式見中学校の統合に反対し存続を求める要望書等提出	式見小学校・中学校歴代PTA会長の会から式見中学校の統合に反対し存続を求める要望書が <u>式見地区在住者1,688名、式見地区外327名、計2,015名の反対署名簿</u> とともに提出された。
平成30年6月7日 式見小・中学校保護者合同報告会(出席者36名)	統合について反対する意見は出されなかった。
平成30年6月18日 式見小学校・中学校歴代PTA会長の会ほか統合に反対する団体代表者との意見交換会(出席者11名)	「地域行事ができなくなり衰退する」など統合に反対する意見が出された。
平成30年7月8日 式見地区の教育を考えるシンポジウム(出席者91名)	「もっと時間をかけて協議すべき」「早急に統合してほしい」など賛否両論の意見が出された。
平成30年7月23日 ～8月5日 式見地区全戸訪問 (1,117戸を訪問し、222戸の不在を除く895戸と面談)	賛成203件、反対112件、意見なし580件 【主な意見】 ・生徒数が少ないから仕方がない。 ・学校がなくなると寂しい、地域が衰退する。 ・子どもがいないため、分からない。

日付	概要
平成30年8月18日 式見小学校・中学校歴代PTA 会長の会ほか統合に反対する団 体代表者等との意見交換会 (出席者15名)	「もう少し時間をかけて協議すべき」「小規模校でも社 会に役立つ人を育てている」「学校がなくなれば式見地 区の伝統文化の継承ができない」など統合に反対する 意見が出された。
平成30年8月31日 式見中学校を小江原中学校へ統 合することについての要望書提 出	式見地区連合自治会長から、式見中学校を小江原中学 校へ統合することについての要望書が提出された。

## 7 通学区域



統合校への通学距離 (道のり)	式見中学校 ↔ 小江原中学校 5.7km
--------------------	-------------------------

### 【参考】通学区域の変更

- ・式見小学校の指定中学校を式見中学校から小江原中学校に変更する予定。
- ・変更時期は平成31年4月1日を予定。

平成30年3月16日

長崎市教育長 馬場 豊子 様



式見地区連合自治会

会長 浅川 長



式見中学校PTA

会長 猪股 安則



式見小学校PTA

会長 土屋 健吾



### 式見中学校の統合についての要望書

日頃より、式見地区の子どもたちのためにご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、式見中学校につきましては、全校生徒31人となっており、小規模化が著しく進展していることから、教育委員会の計画（案）をもとに小江原中学校との統合について式見小・中学校の保護者や地域住民の間で協議を重ねてまいりました。

その中で、現在の式見中学校は部活動の選択肢が少ないことや、体育や音楽等集団での学習活動が制限されるといった理由で、式見小学校の卒業生の多くが式見中学校ではなく、小江原中学校へ進学している実情を考慮し、まずは式見小・中学校それぞれのPTAにおいて「平成32年4月に式見中学校を小江原中学校へ統合すること」で意見の集約がなされました。

地域につきましては、保護者の意向をもとに、昨年12月8日と今年1月20日に教育委員会による意見交換会が開催され、子どもたちにとっての教育環境はもとより、学校がなくなることによる地域活動への影響など様々な議論を行いました。

このような経過をふまえ、2月23日に開催した式見地区連合自治会定例会で意思決定を行った結果、「平成32年4月に式見中を統合することについてはやむを得ない」という結論に至りました。

ついては、式見中学校と小江原中学校の統合を要望いたします。

しかしながら、式見中学校は、地域の中で慣れ親しんだ、歴史ある学校であり、学校がなくなることは、地域の衰退に繋がることも危惧される中で、子どもの教育環境の改善の観点から、地域住民の苦渋の判断を行ったものであります。

このことを十分にふまえ、今後の式見地区の地域振興について、長崎市としても特に配慮していただくとともに、統合にあたり次のとおり要望いたします。

- 1 学校の統廃合により、通学距離が遠くなるため、通学費の全額補助を要望します。  
なお、滑石中学校及び三重中学校までの距離が近い地区については、いずれかの学校に進学したい意向もあるため、この場合にあっても通学費の全額補助を要望します。
- 2 統合前の式見中学校にあっては、学級数がさらに減少することが見込まれますが、子どもたちの学習に支障がない教職員の配置を要望します。
- 3 学校の統廃合により地域が衰退することのないよう、地域の活性化に向けて、市を挙げて、ご協力をお願いします。



平成30年3月23日

式見地区自治会員の皆様

式見地区連合自治会  
会長 浅川 長  
式見中学校PTA  
会長 猪股 安則  
式見小学校PTA  
会長 土屋 健吾

式見中学校の小江原中学校への統合について（お知らせ）

向春の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、近年の少子化の影響等により、市内の小中学校が総じて小規模化しておりますが、特に式見中学校につきましては、生徒数が31人となっており、小規模化が著しく進展していることから、教育委員会の計画（案）をもとに小江原中学校との統合について式見小・中学校の保護者や地域の皆様の間で協議を重ねてまいりました。

その中で、現在の式見中学校は部活動の選択肢が少ないことや、体育や音楽等集団での学習活動が制限される実情を考慮し、まずは式見小・中学校それぞれのPTAにおいて「平成32年4月に式見中学校を小江原中学校へ統合すること」で意見の集約がなされました。

地域の皆様につきましては、保護者の意向をもとに、教育委員会において、昨年12月8日に意見交換会が開催された後、さらに今年1月20日に式見地区内の全自治会、式見小・中学校PTA、青少年育成協議会等の代表者の皆様との意見交換会が行われたところです。

このような経過をふまえ、2月23日に開催した式見地区連合自治会定例会で意思決定を行った結果、「平成32年4月に式見中を統合することは、やむを得ない」という結論に至りました。

今後、教育委員会におきまして、式見中学校を小江原中学校へ統合する方向で事務が進められることとなりますので、正式に決定いたしましたら、改めてお知らせいただくことを申し添えます。

平成30年3月吉日

長崎市教育長

馬場 豊子 様

式見小学校・中学校歴代PTA会長の会

代表 川勝 俊彦 地有志一同



式見中学校の統合に反対する意見書

新春の候 貴殿におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、先般「式見中学校の統合についての要望書」が提出した旨の報告がありました。

連合自治会の採決では、持ち帰り案件を賛否の確認もせず無記名投票で決議しております。

地域住民（各種団体）との、協議も不十分であり到底地域住民として看過する事はありません。（別紙参照）

そこで、式見小学校・中学校歴代PTA会長の会を、立ち上げ下記の諸団体と協力して、式見地区民の総意としまして署名活動をして、改めて要望させていただきます。

教育長におかれましては、本件につきましては真摯な対応をさせていただきますようお願いいたします。

賛同団体

式見地区育成協議会

連合自治会体育部

式見地区文化協会

式見保育園保護者会

式見ベーロン愛好会

式見21世紀を考える会



# 式見中学校の存続についての署名活動(主旨)

昨年より、市教育委員会適正配置室の、推進により式見小学校・中学校のPTAが、統合を決定されました。しかし、小学校在学生のなかには、式見中学校への入学を希望する方もおられます。

平成29年12月20日・地域での意見交換会

平成30年 1月20日・連合自治会・教育者関係意見交換会

1月23日 連合自治会・統合に対して賛成一8・反対一5・未定一3

各位自治会持ち帰り協議事項

2月23日 連合自治会・各自治会の賛否への確認無視

無記名投票 統合に賛成一10・反対一6

3月16日 長崎市教育長に統合についての要望書 提出

連合自治会長・式見小学校・中学校PTA 会長連名

上記の経過ですが、教育委員会の説明では、地域に反対があれば統合は難しい旨の発言をされております。隣の手熊小学校も、長年統合の話は有りますが、賛成・反対の意見が有り現在に至っています。

何よりも、地域の意見を集約することもなく、統合を認めることはできません。

是非、主旨賛同いただき別紙にて、一人でも多くの方に署名してくださるようお願いいたします。

式見小学校・中学校歴代PTA 会長の会

川勝 俊隆・浦川 辰夫・他有志一同



平成 30 年 4 月 16 日

長崎市教育長 馬場 豊子 様

式見小学校・中学校歴代 PTA 会長の会

代表 川勝 俊隆



### 式見中学校の統合に反対し存続を求める要望書

春暖の候 貴殿におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、私たち式見地区は、今年 2 月末には 3 千人の人口も、2 千人台に成り、高齢化率も 43, 67%(H29、12月末)と高い状況です。

それでも、「地域のこどもは、地域で育てる」の、スローガンで、町民運動会や歳末の餅つき大会・クリーン作戦等の活動を通じて地域の絆を育んでおります。保育園・小学校・中学校の、子供達の成長が一番の起爆剤と言っても過言ではありません。

そのような中で、去る 3 月 16 日に式見地区連合自治会より、統合について賛成の要望書が提出されました。地域住民との協議も十分に成されておらず、又、自治会では会員に諮る事もなく会長単独で、統合に賛成の自治会も複数あります。

そこで、歴代 PTA 会長の会を中心に、式見地区育成協議会・連合自治会体育部・式見地区文化協会・式見保育園保護者会・式見ペーロン愛好会等で、式見中学校の存続を求める署名活動をしました。

式見在住者、1,688 名(2, 975名、H30、3月末現在)・式見外 327 名・計 2, 005 名  
教育長におかれましては、式見地区民の総意として、署名簿を提出を致しますので充分内容を精査していただき式見中学校の存続を引き続き強く要望いたします。

# 式見中学校の存続を求める署名簿

## 要 望 書 (賛同団体)

式見小学校・中学校歴代 PTA 会長の会

式見地区育成協議会

連合自治会体育部

式見地区文化協会

式見保育園保護者会

式見ペーロン愛好会

## 存続を求める署名簿(詳細)

式見地区在住者 1、688名(H30、3月末2、975名)

式見地区外 312名

総 計 2、005名

## 要 望 者

式見小学校・中学校歴代 PTA 会長の会

代 表 川勝 俊隆

式見地区上方自治会 会 長 三田 勝之

式見地区相川自治会 会 長 原 九洲男

式見小学校・中学校歴代 PTA 会長の会

事務局(下向自治会 会長) 吉原 日出雄

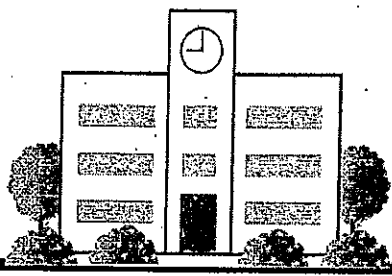
## 式見中学校を存続する運動署名簿

今、式見中学校の存続問題で、一部の人が廃校と言い推進をしています。それでも、故郷、式見中学校で勉学・運動をしたい、と言う子供達も沢山います！式見から、子供達が無くなれば、地域は廃れてしまいます。「式見町民運動会」、「ペーロン大会」、「ふるさと祭り」等々が無くなり、式見は人口が減り、やがて、公的施設(支所・郵便局・公民館 等々)が無くなります。今、地元を愛する私達が立ち上がり、反対運動をしようではありませんか、下記の「式見中学校を存続する」署名運動にご協力をお願いします。

**\*\*式見中学校を無くす事に反対致します\*\***

No.	氏名	住所
1		〒 長崎市
2		〒 長崎市
3		〒 長崎市
4		〒 長崎市
5		〒 長崎市
6		〒 長崎市
7		〒 長崎市
8		〒 長崎市
9		〒 長崎市
10		〒 長崎市

式見小学校・式見中学校歴代PTA会長の会有志一同  
お願い・式見在住の方をお願いいたします。



# 『式見地区の教育を考えるシンポジウム』 を開催しました

7月8日に、式見の子どもたちにとって、望ましい学校教育のあり方を、地域の皆様とともに考えるために、「式見地区の教育を考えるシンポジウム」を開催しました。

学識経験者や元中学校校長、統廃合を経験した地域の代表や、元PTA会長をお招きして、子どもたちの未来を見据えたご意見や、実体験に沿ったお話をさせていただきました。

ご来場いただいた皆様からも活発なご意見・ご質問をいただき、大変ありがとうございました。

## 1 学校教育の現状

- ・長崎市の児童生徒数は、昭和30年代のピーク時から約7割減少しています。【参考:式見地区94~95%減】
- ・一方で学校数は大きく変化しておらず、1校あたりの児童生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでいます。

### 式見地区の小中学校の現状 (H30年度)

	式見小	式見中
児童生徒数	68	<u>18</u> (※)
学級数 ( ) は特別支援学級	7 (1)	2 (0)

(※) うち式見中1年生は0人

## 2 パネルディスカッション -未来に生きる子どもたちのために-

- ・義務教育では将来、社会に出て行くために、自ら考え、人間関係を築く力を身に付けることも大切です。
- ・子どもの数が少ないと、家庭的で、きめ細やかな指導を行うことができます。
- ・一方で小規模校では、人間関係が固定化する恐れがあり、他人の意見にふれることが難しく、集団生活の中で社会性を育むことが難しくなります。
- ・大浦・野母崎では、地域の衰退等を理由に、当初、統合への反対意見がありました。保護者の意見を尊重し、子どものことを中心に考えた結果、統合としてまとまりました。現在も、地域行事を続けながら、地域をあげて活性化に努めています。
- ・統合後は子どもたちに同級生も増え、人とのつながりもできました。



## 皆さまからいただいた 主なご意見・ご質問

- 学校統廃合の協議は、昨年始めたばかりで、もっと時間をかけて検討すべきではないか
- ・野母崎は1年と少して「統合はやむを得ない」との結論を出しました。まず子どものことを考えるよう地域に説明しました。
- ・式見では昨年5月から協議を始め、12月の説明会では80人にご参加いただきました。とくに中学校は昨年の時点で全校生徒30人になっており、早期に統合の検討を進める必要があります。
- 学校がないと、伝統文化が継承できないのではないか
- ・旧北大浦小で実施していた「大浦コッコデショ」は大浦小に統合後復活し、旧校区を越えて子どもたちが参加しています。
- ・地域行事も従来どおり開催しています。なお、統合前後で住民の生活はとくに変わってはおりません。



# 式見地区におけるこれまでの協議経過

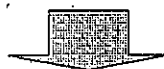


## 平成29年

- 5月 式見地区連合自治会協議
- 6月 式見中学校PTA執行部・役員会 / 7月 小中保護者合同説明会
- 9月 **式見小学校PTA臨時総会**で、**中学校の統合に賛成**の決議
- 11月 小中保護者意見交換会  
**式見中学校PTA臨時総会**で、**中学校の統合に賛成**の決議
- 12月 式見住民との意見交換会(80人)

## 平成30年

- 1月 式見小中PTA、単位自治会、育成協等関係団体代表者意見交換会  
式見地区連合自治会定例会
- 2月 **式見地区連合自治会定例会**  
**賛成多数で中学校の統合はやむを得ない旨の結論**  
以上をふまえ
- 3月 **式見地区連合自治会会長・式見小中PTA会長の連名**で  
長崎市教育長あてに「**式見中学校の統合についての要望書**」(\*) **提出**  
(\*) 要望書の趣旨・・・平成32年4月に式見中を小江原中へ統合する旨の要望



- 4月 **式見中入学者数0人、全校生徒18人** (2年生10人、3年生8人)  
その一方で  
**式見小学校・中学校歴代PTA会長の会**から長崎市教育長あてに  
**「式見中の統合に反対し存続を求める要望書」**が式見地区在住者  
1,688名、地区外327名、計2,015名の **反対署名簿** (\*) **とともに提出**  
(\*) 反対署名簿の趣旨・・・式見中で勉学・運動したい子どもがたくさんいる /  
地域が廃れる / 町民運動会・パーロン大会等がなくなり、公的施設がなくなる



以上のことから

- 6月 式見小中保護者合同説明会
- 7月 **式見地区の教育を考えるシンポジウム**(91人)  
式見地区の子どもたちのために、望ましい学校教育のあり方について、地域の皆様とともに考えたもの



平成30年 8月31日

長崎市教育長 橋田 慶信 様

式見地区連合自治  
会長 浅川



### 式見中学校を小江原中学校へ統合することについての要望書

日頃より、式見地区の子どもたちのためにご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、式見中学校につきましては、小規模化が著しく進んでいることから、教育委員会の計画（案）をもとに小江原中学校との統合について、式見小・中学校の保護者や地域住民との間で協議を重ねてまいりました。

このような中で式見中学校PTA、式見小学校PTA及び式見地区連合自治会のそれぞれにおいて、「平成32年4月1日に式見中学校を小江原中学校へ統合すること」で意見集約を行った後、3月16日に三者連名で「式見中学校の統合についての要望書」を提出させていただいたところです。

要望書の提出にあたりましては、地域衰退の懸念もある中で、式見地区の将来を担う子どもたちの教育環境を速やかに改善することを最優先に考え、苦渋の判断を行ったものであります。

現在、式見中学校の全校生徒は18人の2学級であり、今年3月の式見小学校卒業生10人全てが希望する部活動がない等の理由で、すでに他の中学校へ進学しております。

以上をふまえ、小江原中学校との統合が早期に決定されるよう、改めて要望いたします。

併せて、前回の要望事項である「統合に伴う通学費の全額補助」「統合前の式見中学校の教職員数の確保」「式見地区の活性化に向けた市を挙げての協力」につきましても、特段のご配慮を賜りますよう、引き続きお願いいたします。



## 9 長崎市立中学校条例新旧対照表

現行 (傍線の部分は改正部分)	改正案 (傍線の部分は改正部分)																										
<p>○長崎市立中学校条例</p> <p style="text-align: right;">昭和 39 年 3 月 30 日 条例第 21 号</p> <p>(設置) 第 1 条 本市に中学校を設置する。 (名称及び位置) 第 2 条 中学校の名称及び位置は、別表のとおりとする。 附 則 この条例は、昭和 39 年 4 月 1 日から施行する。 [中 略]</p>	<p>○長崎市立中学校条例</p> <p style="text-align: right;">昭和 39 年 3 月 30 日 条例第 21 号</p> <p>(設置) 第 1 条 本市に中学校を設置する。 (名称及び位置) 第 2 条 中学校の名称及び位置は、別表のとおりとする。 附 則 この条例は、昭和 39 年 4 月 1 日から施行する。 [中 略]</p> <p>附 則 <u>この条例は、平成 32 年 4 月 1 日から施行する。</u></p>																										
<p>別表(第 2 条関係)</p>	<p>別表(第 2 条関係)</p>																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 50%;">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長崎市立日見中学校</td> <td>長崎市界 2 丁目 15 番 1 号</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>長崎市立深堀中学校</td> <td>長崎市深堀町 1 丁目 604 番地</td> </tr> <tr> <td><u>長崎市立式見中学校</u></td> <td><u>長崎市四杖町 1, 245 番地</u></td> </tr> <tr> <td>長崎市立福田中学校</td> <td>長崎市福田本町 1, 430 番地 1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(以下略)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	位置	長崎市立日見中学校	長崎市界 2 丁目 15 番 1 号	(中略)		長崎市立深堀中学校	長崎市深堀町 1 丁目 604 番地	<u>長崎市立式見中学校</u>	<u>長崎市四杖町 1, 245 番地</u>	長崎市立福田中学校	長崎市福田本町 1, 430 番地 1	(以下略)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 50%;">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長崎市立日見中学校</td> <td>長崎市界 2 丁目 15 番 1 号</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(中略)</td> </tr> <tr> <td>長崎市立深堀中学校</td> <td>長崎市深堀町 1 丁目 604 番地</td> </tr> <tr> <td>長崎市立福田中学校</td> <td>長崎市福田本町 1, 430 番地 1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(以下略)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	位置	長崎市立日見中学校	長崎市界 2 丁目 15 番 1 号	(中略)		長崎市立深堀中学校	長崎市深堀町 1 丁目 604 番地	長崎市立福田中学校	長崎市福田本町 1, 430 番地 1	(以下略)	
名称	位置																										
長崎市立日見中学校	長崎市界 2 丁目 15 番 1 号																										
(中略)																											
長崎市立深堀中学校	長崎市深堀町 1 丁目 604 番地																										
<u>長崎市立式見中学校</u>	<u>長崎市四杖町 1, 245 番地</u>																										
長崎市立福田中学校	長崎市福田本町 1, 430 番地 1																										
(以下略)																											
名称	位置																										
長崎市立日見中学校	長崎市界 2 丁目 15 番 1 号																										
(中略)																											
長崎市立深堀中学校	長崎市深堀町 1 丁目 604 番地																										
長崎市立福田中学校	長崎市福田本町 1, 430 番地 1																										
(以下略)																											